

第四小学校 コミュニティ・スクールだより

CS活動と第4回学校運営協議会

1年間のCS活動の様子



「↑ 地域の方と防災訓練」



「↑ 読み聞かせ」



「↑ 朝学習」



「↑ 登下校の見守り」



「↑ 家庭科調理実習」



「↑ 世代間交流昔遊び」



「↑ 足尾現地学習」

第四小学校にCS（コミュニティ・スクール）が導入され、8年が経過しようとしています。今年度は、昨年度と同様に4回の会議を実施することができました。話し合い（熟議や協議）を中心に活発に意見交換がなされました。

コミュニティ・スクール（CS）活動においても、保護者や地域の皆様には多くのご支援・ご協力をいただき、有意義な体験や活動を実施することができました。

過日、2月26日（木）に第4回学校運営協議会が開催され、CSについての1年間のまとめを行いました。

学校運営協議会の内容は、以下の通りです。

〔協議〕

- ① 「令和7年度のCS活動の報告」
- ② 「学校関係者評価の結果の説明」
- ③ 「1年間のまとめ（成果と課題）と次年度に向けての意見交換」

今後も四小の子どもたちの思いや願いが実現できるよう力添えをよろしくお願いいたします。



「↑ 地域の方へ感謝の会」

1年間のまとめと次年度に向けて

〈今年度の主な活動〉

- 朝学習（水・金曜日 8：25～8：40の15分間）
- 読み聞かせ（毎月1回木曜日 8：25～8：40）
- 学習支援（家庭科調理実習、彫刻刀の使い方）
- 登下校の見守り、交通安全教室
- プッシュ講習会（4～6年生・心肺蘇生法の学習）
- プール清掃（4～6年生・ボランティア）
- 記録用撮影（学校行事を写真・ビデオで撮影して保存活用）
- 児童がデザインした竹あかりまつり



- サツマイモの苗植えと収穫交流（1～6年生）
- 昔遊び交流（1～3年生）
- 地域学習（3年生大島しぜん探検隊・2年生郵便局と駐在所見学）
- 東こども園との交流、中学校との交流（二中合唱祭）
- 足尾事前学習（2回）、現地学習
- 地域と合同の運動会
- 公民館まつりでのソーラン踊りの発表と足尾学習等の展示
- 学校公開に合わせた大島地区防災訓練への参加



〈成果と課題〉

- 今年度も学校運営協議会を4回開催した。7月の会議では児童も参加して熟議を行い、運動会のスローガンや地域と一緒にやる競技種目を話し合った。その結果が運動会のプログラムに反映され、市内で唯一、地域と一体となった楽しく充実した運動会を開催できた。
- 今年度も竹あかりの下絵を児童が作り、地域と学校が一体となった「竹あかりまつり」が開催できた。回を重ねるごとに内容も充実し、四小地区の夏の風物詩となっている。新聞やケーブルテレビ等で報道され、市内外からも多くの来場者が訪れ、地域の活性化に大きく貢献した。
- 学校公開日に大島防災訓練を開催した。保護者や地域の方と一緒に大地震が起きたときの対処の仕方や消火器の使い方等を体験し、防災意識の向上と災害への備えが深まった。
- 公民館・田中正造記念館と連携して足尾学習を実施し、その活動成果を公民館まつりや田中正造記念館で展示するなど、特色ある環境学習を行った。
- ※ボランティアが固定化しており、朝学習や見守りが不足しているため、新たな方への呼びかけが必要である。
- ※行事への参加者が役員等に限定されており、一般参加者を増やす方策が必要である。

学校運営協議会委員の意見

- 学校評価で防災について保護者の評価が低いので、親子で主体的に取り組める防災訓練にしたい。
- 防災について、子どもが学んだことを家庭で伝える仕組みができると良い。また、読み聞かせに学区外の保護者にも参加していただきたい。
- 四小地区は小さな地域なので、人間関係に問題が起きると深刻になる。いつも気を配りアンテナを高くして、アンケート等での人間関係の把握が大切である。
- 様々な活動で、ボランティアの皆さんにお世話になり感謝している。今後もいろいろな体験学習の機会を増やしてほしい。
- 学校と公民館の距離が近いので、放課後に勉強をしながら保護者の迎えを待つ待機場所として公民館を活用していきたい。
- こども園と四小との交流で園児にとって学校が身近な場となっている。園児が近くを散歩すると地域の方が声をかけてくれる。四小を中心にそうした温かい地域になっている。
- 今までの活動を継続しながら、新たな活動を取り入れてさらに良いものになっているのが素晴らしい。四小から二中に来て生徒会で活躍したり、学区外から四小で学んで二中に入学し生き生きと活動している生徒が多い。四小と二中との連携を一層深めていきたい。
- ジュニア・シニア食堂を開催して、食事だけでなく、8月は夏休みの宿題、2月はハーバリウム作りをした。今後、学校運営協議会でPTA役員と意見交換の場を設けても良いのでは。
- 子どもたちの心の悩みを聞いてあげる環境や気軽にボランティアに参加できる環境をつくりたい。また、子どもたちが安全に登下校できるように「子ども安全協力の家」を増やしたい。